

市民主役の国際交流を進めます



会津バスツアーの様様

多様な国際交流ネットワークづくりへ

福島市国際交流協会は、諸外国との相互理解と友好親善の促進を目的に国際交流に関する事業を実施しています。

中でも毎月第三日曜日に実施している「ふれあいネットワークづくり事業・交流の日イベント」では、人と人とのネットワークが構築され、大きな輪が出来上がりつつあります。

今後も、外国出身の皆様と福島市民、そして協会とが手をたずさえて市民主役の国際交流を進めていくため、国際交流活動を実践されている方々や団体の皆様から様々な企画やノウ

ハウの提案をいただきながら事業を進めます。

また、外国出身者の方々が母国の文化などを自ら福島市民へ紹介する機会を数多く創出し、異文化理解・共生を深めていきます。

外国出身者とのふれあいから多文化共生社会まで様々な国際化に興味・関心をお持ちの方に事務局までご連絡ください。

福島市国際交流協会会員募集

福島市国際交流協会は、市民と在住外国人との交流や外国から福島市に来た方々の支援を行うなど様々な活動をおこなっています。一緒に楽しみながら交流しませんか。詳しくは、本号の最後のページもしくは <http://www.f-ifa.jp/>にてご確認をお願いします。お問い合わせ、申し込みは事務局(Tel. 525-3739、kikaku@mail.city.fukushima.fukushima.jp)へ

10月・11月・12月

「交流の日」イベント

交流の日イベントフォト

《ふれあいネットワークづくり事業》
福島市在住外国出身者と福島市民とがふれあいを通じて交流を深め、多文化・異文化が実感できるイベントで、毎月第三日曜日を中心に「交流の日イベント」を実施しています。

10月14日(日)

あいづバスツアー

福島県内の国際交流活動を見て知って楽しむことのできる地球市民フェスティバルに行きました。県内の多くの団体の活動内容やワールドグルメを堪能することができました。

会津鶴ヶ城と野口英世記念館を巡り、福島の世界に誇る歴史や人物について学んできました。移動のバスの中では、参加した外国出身者の方々による歌の披露もあり楽しい一日を過ごしました。

参加者 41名



福島市国際交流協会ブース



福島日中文化交流協会による「剣の舞」

11月4日(日)

結・ゆい・フェスティバル

第4回を迎えた結・ゆい・フェスティバルを今回は福島駅前通りで実施しました。

会場では、国際交流団体の活動をPRするブースや実際に舞踊を舞ったり、実際の団体活動をデモンストレーションで行うことのできる体験型ブースやインドネシア、韓国、インド、ルワンダの料理を楽しめるブースがあったりと、普段国際交流活動に触れる機会のない多くの方々に国際交流活動を知っていただくことができました。



福島駅前通りでの開催



ウズベキスタン共和国からの留学生も参加



インドネシア料理の振舞い

12月16日(日)

お正月迎え

日本の年中行事であるお正月迎えの飾り付けが行われている民家園に行きました。約300年前に建てられた福島の民家を見ながら日本の建築文化を学びました。

その後は、唐から伝わったさつまいもを使っていも版を作りました。出身国のオリジナルが表現された作品が仕上がりました。

参加者 23名



雪の民家園



いも版で作りました



さつまいもを使ったいも版作り



国際交流団体活動紹介コーナー



福島国際交流の会（会長 武田 徹）

「英国高校生を受け入れて」

今年も英国のペリー・セント・エドモント から、ブランチン先生を団長に計 10 名（引率 2，高校生 8）が来福し、さまざまな相互交流を行いました。

10 月 20 日に御倉邸で持たれた日英文化交流では、着物の着付けから始まって、琴の演奏、篠笛演奏を楽しみ、お茶、てるてる坊主作り、お手玉、あやとり等の日本文化を会員が英語で説明し、楽しみました。

21 日は白河方面の観光でした。白河の関跡、小峰城見学の他に、‘まほろん’で勾玉作りに挑戦し、よいおみやげができた喜んでいました。今回初めて、日英両語での俳句に興じ、好評でした。帰りは恒例の温泉浴を土湯の樹泉で楽しみました。22 日の午前中は福島高校を訪問し、授業に参加させていただき、双方がよい刺激となったようです。午後は信夫山散策でしたが、日頃行かない所まで足を伸ばし、英国人のみならず、会員にも大変喜ばれました。散策を準備した会員が山伏姿に変身しての案内も見事でした。全期間、会員宅にホームステイしての交流でした。



福島ユネスコ協会（会長 河田 亨）

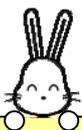


福島ユネスコ協会が実施した 19 年度の事業をいくつか紹介します。

総務委員会では、2 回の「世界寺子屋運動」街頭募金を実施しました。街頭に立ったのは会員だけでなく、福島四小・三河台小・森合小・福島一小の子供たちの協力も得て大きな成果をあげることができました。

国際委員会は、長楽寺住職中野重孝氏による講演会を開き、仏教発祥の地インドの現状について話を聞きました。また、国際理解・交流のつどいには、ルワンダのマリールイズさんを招き、ルワンダの歴史や教育について理解を深めました。

青少年委員会は、「子どもユネスコ教室」を開催しました。講師にベトナム出身のナーさんを招き、ベトナムの子どもの遊び、言葉、民族衣装などベトナムの生活の様子について楽しく学ぶことができました。



♪お知らせ♪



♪お知らせ♪



このコーナーは、皆さんからの情報掲載スペースです。協会会員の方や国際交流団体などからの国際交流イベントや講演会開催の情報・役立つ書籍やおいしいお店などの情報をお待ちしています。なお、掲載内容は事務局判断により編集させていただきますのでご了承ください。



＜福島日中文化交流協会＞

福島日中文化交流祭“春節”

日 時：平成 20 年 2 月 10 日（日）午前 10 時～午後 3 時
11 日（月）午前 10 時～午後 3 時 30 分
場 所：コラッセふくしま 1 階ロビー
参加費：無料
内 容：中国少数民族衣装の試着、ミニミニ中国語会話、など
問合せ先：福島日中文化交流会 代表幹事 岩間真弓
TEL/FAX 575-2071 又は 090-2360-3275

特集

ウズベキスタンからの留学生が見た福島市

福島市の福島学院大学は、姉妹校の交流協定に基づき平成8年からウズベキスタン共和国のタシケン国立東洋学大学の留学生を受け入れています。

そこで、留学生から見た福島市の印象などをお聞きました。



バルティエワ・マリカさん

福島はとても珍しい街だと思えます。福島の初めての印象です。空気がきれいで花が爽やかな感じがしました。それに街の真ん中にある信夫山を見て本当に驚きました。このような里山は全国でも珍しいと後で学びました。



日本に来るのはこれで二度目ですが、福岡も福島もとても気に入りました。福島はウズベキスタンにちょっと似ていて、自分の国にいるような感じがします。自然が豊かで、とても安全で人々が優しいからです。

昨年末、母が福島に来ました。福島がとても気に入ったようでした。特に、自然、温泉、食物、人々です。母はホッとして国へ帰ることができたと思います。

私は将来また福島に来たいと思います。

アサノワ・セワラさん

福島は自然に恵まれた街だと思えます。周りにはたくさんの山があり、空気はとてもきれいだからです。福島に来てすぐに信夫山に車で案内されました。山頂からの美しい景色にびっくりしました。道路がすごく狭く少し怖かったけど。



現在、福島学院大学で学んでいますが、ウズベキスタンの大学とはかなり違います。敷地も広く、いろいろな彫像もあり、美しい風景をみせています。

生活教養、日本語、社会心理学などを勉強しています。難しいですがとても面白いです。しかし、福島で生活するのは大変です。物価がとても高いからです。

将来は福島での勉強を活かし、日本大使館で働きたいです。そして福島に両親を連れてまた来たいです。

中国語版「福島市生活ガイドマップ」

配布中

ご希望の方は、福島市国際交流協会事務局までご連絡ください。



協会会員募集

ご入会いただくと・・・

- ・会報ユニバースをお届け
 - ・「交流の日」の参加費がお得！！
 - ・国際交流・国際支援団体からのご案内をお届けなどの特典があります。
- ご家族の皆さんでのご加入をお待ちしております！

- 個人会員：3,000円/年
- 家族会員（個人会員の家族）：1,000円/年
- 学生会員（高校生、大学生、専門学校生）：1,000円/年

- ◎ 新規会員 3名
（個人）半澤喜美子、鹿谷令子
（家族）鹿谷昇
- ◎ 継続会員 2名
（個人）佐藤敏明、須佐功
（順不同、敬称略、H20.1.21 現在）



福島市の外国人登録者数

総数 1,944人（前月比 -32人）
2007.12.31現在

ランク	国名	人数	前年同月比
1	中国	973	58
2	フィリピン	447	14
3	韓国・朝鮮	211	2
4	ブラジル	81	-7
5	アメリカ	54	2
その他		178	-1
合計		1,944	68

《参考》 1997.12.31現在

ランク	国名	人数
1	中国	389
2	フィリピン	341
3	韓国・朝鮮	195
その他		294
合計		1,219

